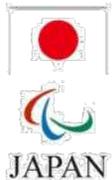


日本パラリンピック委員会
委員長

河合 純一





行政との連携



1975年より9回にわたり開催してきたフェスピック競技大会は、1989年に神戸市の市政100周年事業として開催された。

同年4月に開村した「しあわせの村」が選手村として利用された。

実施概要



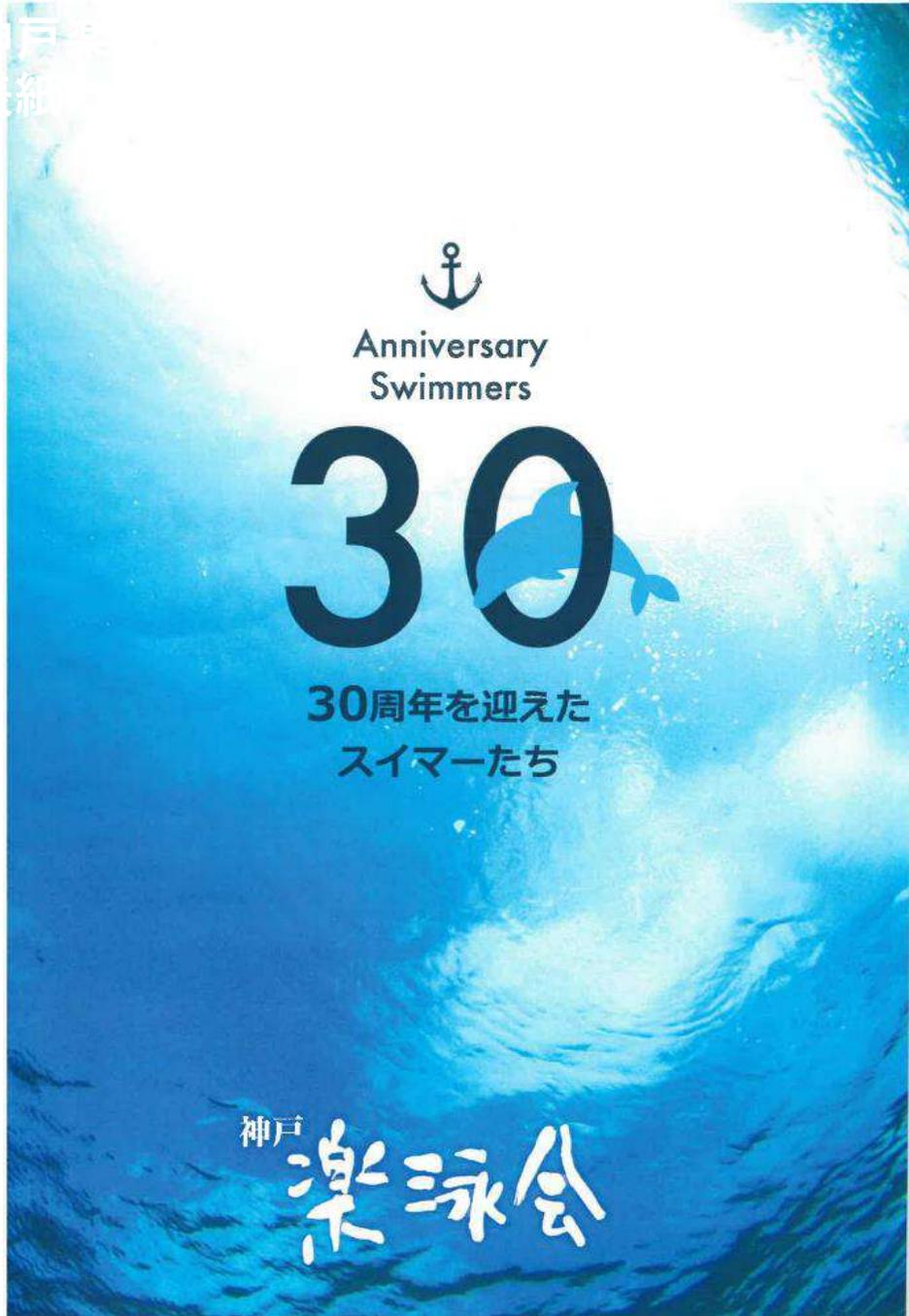
第5回フェスピック競技大会 モニュメント



フェスピック競技大会 開会式

| 回 | 開催年 | 開催都市 | 参加国数 | 参加人数 | 日本選手数 |
|---|------|-----------------|------|-------|-------|
| 1 | 1975 | 日本（大分・別府） | 18 | 973 | 542 |
| 2 | 1977 | オーストラリア（パラマッタ） | 16 | 430 | 25 |
| 3 | 1982 | 香港（シャティン） | 23 | 744 | 37 |
| 4 | 1986 | インドネシア（スラカルタ） | 19 | 834 | 46 |
| 5 | 1989 | 日本（神戸） | 41 | 1,646 | 586 |
| 6 | 1994 | 中国（北京） | 42 | 2,081 | 87 |
| 7 | 1999 | タイ（バンコク） | 34 | 2,258 | 99 |
| 8 | 2002 | 韓国（ブサン） | 40 | 2,199 | 131 |
| 9 | 2006 | マレーシア（クアラルンプール） | 46 | 2,346 | 162 |

<https://www.jsad.or.jp/paralympic/jpc/asianpara/>



⚓ 神戸楽泳会のあゆみ

- 1979.6 — 神戸市民生局と神戸市水泳協会が協力し、身体障害者水泳教室がスタート。指導は神戸市役所親和会水泳部。会場は神戸市長田区のかかもプール。全10回のコースを年1回春季に開催。火、木曜の午後6時～7時40分。対象は16歳以上の男女。
- 1985 — 教室の開催回数が年2回になる。春季、秋季とも火、木曜。いずれも8回のコース。
- 1987 — 神戸市民生局水泳教室の卒業生、川田 真貴子と蒲生 明美がソウル・パラリンピックに出場することになり、火、木曜の午後6時～7時40分に桜井 誠一、堀岡 健介、滝元 良一、播磨 洋と練習を始める。
 - 10.15～24 ソウル・パラリンピックに2名が出場。
川田 真貴子 100m背泳 6位/100mバタフライ 6位/400m自由形 8位/400mフリーリレー 6位
蒲生 明美 100m自由形 5位/50m平泳 7位/50m自由形 6位/200m個人メドレー 7位
- 1989 — 神戸楽泳会結成(かもプール)
 - 2.9 日本身体障害者水泳連盟【団体登録】「神戸楽泳会」とする。
会長 杉原 優
コーチ 桜井 誠一、堀岡 健介、滝元 良一、山口 佑二、播磨 洋
会員19名。活動日は毎週火、木曜。
さっそく第5回フェスピック神戸大会及び第6回日本身体障害者水泳選手権大会出場に向けて練習を始める。
 - 4.23 近畿身体障害者水泳選手権大会(フィンブラザ大阪)に8名が出場。
100mリレー2位、200mメドレーリレー3位とまずまずの成績。
 - 7.1～2 第6回日本身体障害者水泳選手権大会(神戸ポートアイランドSC)に16名が出場。400mリレー3位、100mリレー3位。初参加の全国大会で好成績を取め、他のクラブを驚かす。
 - 9.15～20 第5回フェスピック神戸大会(神戸ポートアイランドSC)に3名が出場。
川田 真貴子 100mバタフライ2位/100m自由形3位/100m背泳2位/400m自由形3位
本田 淳子 100m自由形2位/100m背泳1位/400m自由形1位/100m平泳2位
蒲生 明美 100m自由形1位/100m平泳1位/100mバタフライ1位/400m個人メドレー1位
楽泳会メンバーの活躍に地元神戸の関係者は大喜び。このとき県代表として出場し、100m自由形3位、100m平泳5位という成績を取めた家長 晃がこの後、楽泳会に入会しました。
 - 10.8 神戸楽泳会総会を開催(しあわせの村)。
参加者は会員16名とコーチ。
会則承認が行われ、年会費は3,000円に決定。
会長 杉原 優
幹事 上田 進行
副会長 川田 真貴子
理事 菊井 幹太、蒲生 明美
大きな大会を経験し、クラブの体制もしっかりとの思いをこめて。
- 1990.5 — 少年少女のクラスが発足。皆木 砂織が入会し、堀岡 健介がコーチにあたる。
 - 7.1 第1回近畿身体障害者水泳選手権大会(フィンブラザ大阪。近畿身体障害者水泳連盟主催)に9名が出場。
200mフリーリレー1位/200mメドレーリレー4位。リレーの1位は立派!みんな大活躍しました。



設立年
1994年1月31日

設立の目的
障がい者・高齢者を中心に、すべての市民に開かれたスポーツ施設として整備し、障がい者等のスポーツの振興に努めるとともに、スポーツを通して市民との交流を図り、ノーマライゼーションの実現をめざすため、設立されました。

神戸市社会福祉協議会
<https://www.with-kobe.or.jp/>



民間企業との連携





危機管理基本マニュアル

2019年2月制定

2020年7月一部変更

一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟

海外派遣選手団向け
安全対策マニュアル





海外との連携





共生社会
ホストタウン
の取り組み



神戸市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市内全域を対象として実施】

- 神戸市バリアフリー基本構想に基づき各区に重点整備地区に選定し、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進:①
(身体障がい者等関係団体や学識経験者等の意見を聞きつつ、これまでに基本構想を2回見直すなどPDCAサイクルが定着。2020年度に目標年次を迎えるため、2021年度に向けて改訂予定)
- 市営地下鉄西神・山手線全駅に可動式ホームドアを設置(~2023年度):②
 - 多機能・多目的トイレ「こうべ・だれでもトイレ」の整備
 - 民間バス事業者等へのノンステップバス導入資金補助
 - 一般参加も可能な心のバリアフリー研修を開催

【開村30周年を迎えた総合福祉ゾーン「しあわせの村」における取り組み】

- 神戸市全体のモデルとなるようなUD整備を実施
 - オリンピック・パラリンピック事前合宿に向けたスポーツ施設改修(体育館、運動広場)
 - 市民講座「こうべUD大学」の開催
 - 夏休みの親子UD体験教室の開催
 - 「こうべユニバーサルデザインフェア」の開催
 - こうべUDサポーターによる「UD出前授業」の実施
 - ◆しあわせの村におけるパラリンピック支援活動(パラ選手・団体への支援)
 - ◆障害者スポーツ体験イベント「バラスポーツ王国」(14競技の体験、2018年延べ2,576人が参加)
 - ◆障がい者アート公募展「しあわせの村こころのアート展」

総合福祉ゾーン
しあわせの村



(記載凡例)

・目玉事業→赤赤字

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
 - 今後実施予定の事業(計画中の事業)
- 【心のバリアフリー】
- ◆現在実施中の事業
 - ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

【市内小中学校を対象として実施】

- ◆あすチャレ！スクール(2016年度1校、2017年度5校、2018年度9校、2019年度10校(予定含む))及び あすチャレ！ジュニアアカデミーの実施
- ◇オリパラムーブメントにおける教育推進校にオリパラ教育
- ◆ネパールパラ水泳チームのトレーニング合宿に伴う交流事業の実施



⑥神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会会場

ユニバー記念競技場



市営地下鉄



②市営地下鉄西神・山手線全駅に可動式ホームドア設置

【スポーツ施設等】

- ◇オーストラリアパラチームによる事前合宿(2020年8月):⑤
(100名規模の受入れ及び交流、ボランティア募集、施設改修)
- ◆ネパールパラ水泳チームによるトレーニング合宿(2016年度~)及び事前合宿(2020年8月):⑤
- ◇合宿に伴う市民向け練習見学会や児童生徒との交流事業を計画
- ◇神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会の開催(2021年9月開催):⑥
- 大会・事前合宿開催に伴うバリアフリー等施設改修

①重点整備地区
垂水区役所周辺

①重点整備地区
北区役所周辺

⑤オーストラリアパラ・ネパールパラ水泳事前合宿

①重点整備地区
兵庫区役所周辺

①重点整備地区
長田区役所周辺

①重点整備地区
須磨区役所周辺

中心市街地
三宮

①重点整備地区
中央区役所周辺

④都心・三宮の再整備

ポートアイランド

③国際義肢装具協会世界大会(ISPO)会場



御崎公園球技場



港島
⑤オーストラリアパラ事前合宿
神戸スカイブリッジ

【中心市街地】

- ◇国際義肢装具協会世界大会(ISPO)2019の開催:③
(30年ぶりの日本開催、約70か国からおよそ5,000人が参加)
- オリパラ等経済界協議会と連携したバリアフリーマップ作成(三宮、御崎公園球技場)
- 神戸2021世界パラ陸上競技選手権に伴う宿泊施設等のバリアフリー改修
- 都心・三宮の再整備において誰もが暮らしやすいまちづくりを実施:④
- 外国人を含め誰もが見やすい、まちの案内サインを整備

<https://www.city.kobe.lg.jp/a27565/20191011074001.html>

神戸市共生社会ホストタウン活動計画（相手国：オーストラリア・ネパール）



オーストラリアパラリンピック委員会との協定書締結式

オーストラリアパラリンピックチーム（12競技、選手・スタッフ100人以上）及びネパールパラ水泳チームの神戸における合宿受け入れを契機に、障がい者理解を促進し、パラスポーツの機運を醸成することで、2020年に向けて「誰もが活躍するまち」神戸を推進し、共生社会の実現を目指します



ネパールパラ水泳チームのトレーニング合宿

神戸市バリアフリー基本構想（～2020年度）

理念 ～ひとにやさしいまちづくり、ひとがやさしいまちづくり～

取り組み 9つの重点整備地区において整備を実施・心のバリアフリーを推進

ユニバーサルデザインの街づくり

- 基本構想の4つの方針に基づいたまちづくり
 - ・ユニバーサルデザインや神戸の特性に配慮した施設等の改善・整備
 - ・多様でわかりやすい適切な情報の提供
 - ・施設の職員および市民による心のバリアフリーの推進
 - ・持続的に取り組むバリアフリー
- 様々な方へ配慮された「こうべ・だれでもトイレ」の推進
 - ・2018年12月時点で市内156箇所に整備済
- 神戸市営地下鉄に可動式ホームドアを設置
 - ・2023年までに西神・山手線全駅に設置する方針で検討
- バリアフリーマップの整備
 - ・大規模国際スポーツイベントを見据えて、企業と連携してバリアフリーマップを作成



こうべ・だれでもトイレシンボルマーク



総合福祉ゾーン「しあわせの村」での取り組み

※しあわせの村・・・高齢者・障がい者の自立や社会参加を支援する福祉施設と、緑豊かな自然の中で、すべての市民がリフレッシュできる都市公園を一体的に整備した複合施設

- 神戸市のUD化の先駆的役割を目指す
 - ・障がい者、学識者等の意見や現地踏査による課題整理と対応 [ハード] 施設の更なるUD化、移動の円滑化、サイン再整備 等
 - [ソフト] 研修プログラム作成・実施、障がい者の参画拡充 等
 - ・障がい者向けルート案内アプリを導入
 - ・市民参加の取り組みの実施
こうべUD大学、夏休み親子UD体験教室、こうべUDフェア 等
- パラリンピック支援活動の推進拠点
 - ・東京2020事前合宿を含めた国内外パラリンピアンによる合宿
 - ・市民ボランティアによるパラリンピアンへの練習サポート
 - ・パラスポーツ体験イベントの開催 等



心のバリアフリー

- 心のバリアフリー研修の充実
 - ・あすチャレ！ Academyを活用した一般参加も可能な研修
- 小中学校でのパラリンピアンによる体験授業
- 国際義肢装具協会世界大会2019の神戸開催
 - ・医師・義肢装具士・セラピスト・介護職など70か国・5,000人が参加
 - ・プレイベントとしてパラスポーツ体験事業などを実施
 - ・大会期間中にパラリンピック応援イベント（実演、指導、体験、器具展示）



神戸2021世界パラ陸上競技選権大会

- 東アジアで初開催となる世界最高峰のパラ陸上競技大会
 - ・日程：2021年9月の約10日間
 - ・会場：ユニバー記念競技場
 - ・参加選手：100か国・地域より1,300人
 - ・観客数：10万人
- 大会基本理念【3つの柱】
 - ・パラリンピックムーブメントの継承とパラスポーツの振興
 - ・国際親善の促進
 - ・インクルーシブな社会の実現
- 大会開催に向けたバリアフリー改修等施設改修





ポスト2020を見据えて・・・





SNSで最新情報を公開



日本パラリンピック委員会

Twitter



Facebook



フォロー・応援を宜しくお願いします！

